



自己の持つ日本記録には及ばなかったが、15分24秒でゴールした福士加代子さん

昨年誕生した新しいタイプの陸上競技大会『チャレンジランinナショナルスタジアム』が10月1日(土)、陸上競技者の聖地・国立競技場(新宿区霞ヶ丘)で行われました。9時30分スタートの10kmロードレースを皮切りにトラック競技の800m(小学生)、1500m、3000m、5000mが夕方まで続き、2000人以上が参加しました。

この大会は小学生から大人まで、競技者と市民ランナーが一緒になってレースを楽しむことを大きな特徴としていますが、特に今年は招待選手の5000mレースに場内が魅了されました。5000m日本記録保持者の**福士加代子選手**(ワコール)、アテネオリンピック・ヘルシンキ世界陸上で10000mケニア代表の**チャールズ・カマシ選手**(富士通)などが期待通りの力強い走りを披露し、特別にグラウンドの脇に設置された観戦ブース(トラックの外側3レーン)では観客が選手と同じ視線でレースを見守りました。



ランナーに激励を飛ばす宗茂さん

元旭化成陸上部監督の**宗茂さん**は、トラック種目が始まると観戦ブースの1番前に座り、「さあー、ここからペースをあげていこう！前に付いて行けよう！」とマイクで激励を飛ばし、大会を盛り上げていました。

大会総合プロデュースの**増田明美さん**は「福士選手の出場はとても嬉しかったことです。特に子どもたちにとって、あのスピードと雰囲気を感じられたことは貴重な体験になったと思います。また、応援にきてくださった宗茂さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。宗さんのマイクにあおられて一般のランナーの皆さんもペースアップするなど、会場の一体感が生まれましたね」と大会を振り返っていました。



大会プログラムを片手に、ランナーの名前を呼んで励ました増田明美さん

◎大会ホームページ <http://www.challengerun.jp/>

●外苑10kmレース

秋晴れの下、神宮外苑を走る10kmのロードレースには1766人(完走者数1527人)が参加。



●サブイベント「走・跳・投」

「走・跳・投」をテーマに、「100m走」「走り幅跳び」「ソフトボール投げ」の3種目を開催



●宗茂さんの氣功教室



今年4月から、九州保健福祉大学の客員教授として東洋医学、主に氣功の研究をされている宗茂さん(元旭化成陸上部監督)の氣功教室。

●アディダスブースではフットスキャンが人気



今年からスポンサーとしてサポートをしたアディダスジャパンでは、商品の販売はもとより、全国各地で人気の「フットスキャン」を実施。専門アドバイザーが一人一人の足を幅広い視点から分析・診断。



チャンピオンレース5000m結果

男子	1位	チャールズ・カマシ(富士通)	13:45.62
	2位	浜野健(トヨタ自動車)	14:03.00
	3位	尾田賢典(トヨタ自動車)	14:03.42
女子	1位	福士加代子(ワコール)	15:24.95
	2位	野田頭美穂(ワコール)	16:00.93
	3位	岩田絵里子(第一生命)	16:05.83

レース後、トラック上で、観客の握手に応じる招待選手。この大会ならではの光景。



大会開催要項

- 開催日 10月1日(土)
- 場所 国立霞ヶ丘競技場(ナショナルスタジアム)
- 主催 チャレンジラン大会実行委員会
- 協賛 アディダス ジャパン株式会社  JR東日本 
- 協力 旭化成 **AsahiKASEI**
- 受付 8:00~ *各スタートの1時間前
- 開会式 9:00~9:10
- 種目 800m 小学5~6年生 1500m 中学生以上 3000m 中学生以上
5000m 高校生以上(出場標準タイム 男子18分 女子23分以内)
5000m チャンピオン(招待選手のみ)
10kmロード 高校生以上 *制限時間90分

第2回 チャレンジランinナショナルスタジアム
Challenge Run
in National Stadium